

パイプライン供用開始—貨物大合理化攻撃を 支部の団結強化ではねかえせ 佐倉支部 集

佐倉支部職場集会は、七月十三日、十二時より、機関区講習室において、六八名の役員・組合員の結集でもってかちとられました。

とりわけ、今回の職場集会は、国鉄労働運動破壊攻撃の中で、八月パイプライン供用開始・ジェット燃料貨車輸送廃止、59・2貨物大合理化等の攻撃を前に、職場組合員の不安や怒りも高く、真剣なふん囲気の中で開催されました。

8月パイプライン供用開始、 59・2貨物大合理化攻撃に対決しよう

堀口支部長あいさつ

この日は、いつもよりも早く仲間たちが会場に続々と集まってきた、開始予定時刻の十二時には満席となる中、田中書記長の司会によって開会されました。

最初にあいさつに立った堀口支部長は、「動労千葉と国労の闘いによって、当局のゴリ押しを粉碎し、動乗改悪乗務員合理化の攻撃を一年近く先送りにさせるといふ成果をかちとった意義は大きい。また、三里塚二期着工攻撃に歩調を合わせた反対同盟や動労千葉への組織破壊攻撃も激化のきざしを見せている。動労『本部』革マル反動分子のデッチ上げタレコミによる『6・12事件』反動判決を口実にした三名の仲間への解雇攻撃の策動があるが、絶対に許せない。全体ではねかえしていかう。59・2貨物大合理化攻撃、動乗改悪攻撃、8・8パイプライン供用開始二期攻撃激化に対決し、労農連帯労働運動の原点を守り守って、反動太田体制をうち倒すねばりつよい職場の闘いを創り出していこう」と力強く決意を明らかにし、支部組合員全員より一層の団結を訴えました。

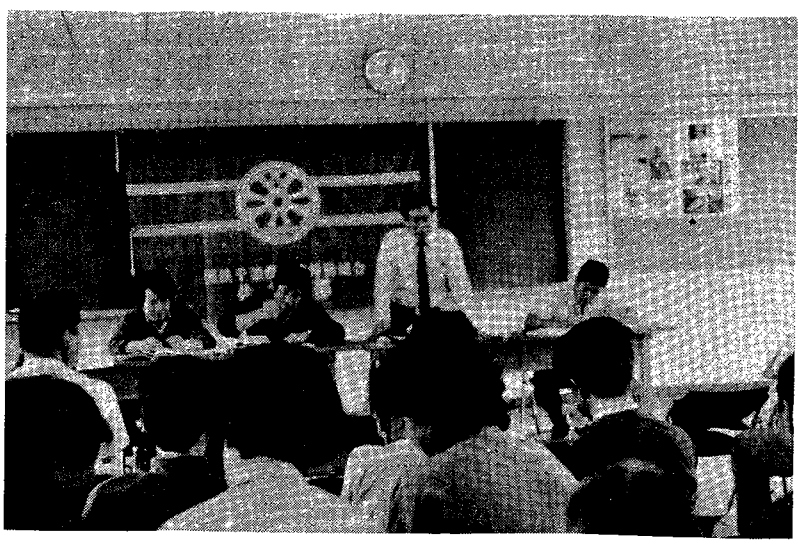
当局・「本部」革マルの組織破壊攻撃許さず、一層の団結を
次いで、本部より、吉岡組織部長が、この間の動乗改悪阻止闘争、「6・12デッチ上げ事件」口実の処分策動との闘い、「職場規律」攻撃等を軸とした闘いの中間総括を提起し、当面する闘いの方向性を提起しました。
提起された、当面する闘いの方針は、次の通りです。

- ① 「6・12デッチ上げ事件」有罪判決弾劾！不当処分を絶対許さない闘いを、全職場で構築する。
- ② 貨物大合理化粉碎、8・8パイプライン供用開始をもって始まる全ゆる攻撃を許さない闘い。
- ③ 当局に対する権利防衛！職場抵抗闘争をより一層強化する。

佐倉支部通信員・発

④ 80年代に勝ちぬく強固な組織・団結をつくり出すため、家族組合の結成を全力でかちとろう。

この提起を軸に、若干の質疑討論がかわされ、全員で一致団結して闘っていくことが確認されました。
ジェット燃料貨車輸送の八月廃止を機に、国鉄当局や動労「本部」革マル反動分子ら一体となつての組織破壊攻撃にひるむことなく労働運動の原則をかかげて、支部組合員全員で団結固く闘いぬいていくことを確認し、職場集会は大成をかちとりました。最後に堀口支部長の団結ガンパローをもって終了しました。



原則を貫く闘いで、力強く前進しよう！
— 力強く決意を述べ、団結を訴える堀口支部長 —

- 7・31 反戦・三里塚大集会
- 7月31日（日）13時、日比谷公会堂
主催Ⅱ三里塚闘争に連帯し動労ジェット闘争を支援する東京実行委員会
- 8・8 パイプライン供用開始粉碎、二期阻止・空港廃港 総決起集会
- 8月8日（月）10時、千葉市みなと公園
主催Ⅱ空港反対同盟・動労千葉